2023.7.3　『祇園祭 2019』を再掲



## シリーズ《生き続ける文化財》：『祇園祭』と『剣鉾差し』

今年の祇園祭は，創始 1150 年ということでたくさんの記念事業が行われ，例年とは一味違った祭を楽しめたのではないでしょうか。この記念事業の一つとして，二条城で「京都の剣鉾差し」の講演と実演が行われました。見られましたか？　実演では，市内 15 基の剣鉾が一堂に集まって城内を練り歩き，迫力ある動きに観客は魅了されていました。この日の講演では，この『剣鉾差し』と『祇園祭』との深いかかわりが解説されましたので，紹介します。

### 《ご紹介》

祇園祭創始 1150 年を記念して，市内の剣鉾が二条城に集った。粟田神社などの東山系の剣鉾差しや鞍馬火祭の剣鉾差しなど，各地で行われる 12 か所，15 基の剣鉾が一堂に集まり，城内をパレートした。

パレードの前の講演で，元京都市歴史資料館館長の山路興造先生が，祇園祭と剣鉾差しの関係を次のように紹介した。

会場となった二条城は，平安時代には一部が神泉苑であった。京都の地形は北から南に川が流れ，巨椋池で収れんしている。例えば寺町通には，今は暗渠になったが京極川が流れ，川底がきれいに見えていた。それほど水深が浅く，身近な存在だったので，逆に，雨で洪水が起こりやすく疫病が多発した。当時の人たちはこの疫病の原因を悪霊の仕業と考え，仏教思想から御霊会（法会）が始まる。特に旧暦 6/7～6/14 に祇園社が行った神泉苑での御霊会は効果があったと考えられ，そこに集約されていく。このとき 3 基の神輿が担がれるようになって，それが今日まで続いているという。

その後，主役が貴族から有力市民に代わり，疫神を送りたいとの市民の願いから地域単位で行事が行われ，民俗行事として発展していく。例えば，鎌倉時代に下京（二条から松原）の住民が鉾を出す記録が残っていて，町内で座を回し（主役を町内の輪番とし），疫神を集める役を務めたという。つまり，剣鉾は疫神を集める道具であり，剣鉾差しは集めて回る行為であったわけである。

室町時代になって足利家は，舞を踊る台（舞車）

➢　剣鉾差し〈二条城〉

雷雲に
群れるが如き
疫神かな

を下京住民に奉納し，住民はその舞車の上に鉾を乗せて祭りを行った。これが山鉾祭りの始まりであり，この形式は下京のみで行われたという。

気を付けたいことは，祇園祭がこのような厄除け行事であるため，集めた疫神を散らさないよう，すぐに山鉾を解体し，備品のわらなどを頂いて帰って家で祀るということだ。したがって，疫神の付いたわらなどを決して粗末に扱ってはいけないのだそうだ。ここで面白いのは疫神の扱いである。人間にとって悪いことをする疫神を絶対悪とせず，それを祀って守り神（味方）にしているということであり，日本の宗教観がよく表れているという。

京都の剣鉾差しは，現在，市内 19 の祭礼で行われており，このイベントでは 15 基が集まった。剣鉾差しは 3 人一組で行うのが基本であるが，鞍馬のそれは 1 本の鉾に 3 本の支柱が付いたものとなっている。京都市内では，現在，一条寺八大神社，嵯峨祭，梅ケ畑平岡八幡宮，西院春日神社の各剣鉾差しと鞍馬火祭が無形民俗文化財に登録されている。

話を祇園祭に戻そう。記念事業として 6 月 10 日まで募集していた祇園祭の写真が，7 月中に四条通の地下道で展示されていた。力作が並んでいたが，残念ながら柱の陰で少しわかりにくかった。このフォトギャラリーの隣の大丸ショウウィンドウで，ミニ山鉾巡行が飾られていたのをお気づきだっただろうか。このミニ山鉾は今年のくじ取り式で決まった順番に並んでいたので，確かに今年の巡行である。お値段は，長刀鉾が 3,240 円，ほかに 3,348 円，3456 円と小刻みに並び，最高値は 6,588 円の船鉾だった。作り方がそれぞれ異なってのことだろう。しかし，いい年の大人が長時間ショウウィンドウの前でジッと見つめているのも，いかがなものか？

7 月 6，7 日には，今年，特別に“津和野の鷺舞”の里帰り奉納が八坂神社で行われた。2 羽の鷺が，息を合わせて仲良く踊っていた。　続く

➢　祇園祭フォトギャラリー＆ミニ山鉾巡行

辻にきて
くるりと回る
ミニ巡行

➢　津和野弥栄神社の鷺舞（八坂神社にて）